



◎デバートの屋上に

甲冑姿勇ましき武士の出陣

(東京) 九年三月二十五日

デバートの屋上に武士出陣、花には早い、
銀座行樂の人々の話題を騒がした。それは日
下松屋で開催中の鎧式正飾^り展覧會を主宰す
る松岡映丘氏が指導し其の道の大家と知られ
た。小野田、安本兩氏が世話役となり、
同店員七名連日の練習になる「鎧着出陣之
式」であつた。招かれた畫家、俳優其他古代
風俗に縁の深い者三百餘名、本格古代武士風
俗の概念を學んだわけ



◎滿洲國國賓晴れの都入り

(東京) 九年三月廿六日

滿洲國皇帝陛下より同國の帝政宣布を機會に
我天皇陛下に建國當初よりの深甚なる敬意を
表するため特派された國務總理大臣鄭孝胥、
財政部大臣熙洽の兩氏以下一行は廿六日午前
九時廿五分皇室の貴賓として晴れの入京を爲
した

寫眞は

- 一、湯邊宮相と握手の鄭特使 (右は熙氏)
- 一、儀裝馬車上の鄭特使



新編聯合

寫眞ニユース

第二號

◎禮子女王めでたく御降嫁

|| 佐野伯邸で御舉式

(東京) 九年三月二十六日

竹田宮禮子女王殿下には廿六日大森區馬込の
佐野伯邸に御着大禮服さらびやかな新郎常光
氏と高臺を中央に御着席、清浦奎吾伯夫妻庶
酌申上げて小笠原流の古式に則る三々九度の
御杯ごとも日出度く千代の契りを結ばせ給ひ
次いで佐野伯夫妻と御親子の杯を交はされた
寫眞は

一芽出度き新郎新婦



◎軍司令官師團長會議

―林陸相最初の訓示―

〔東京〕九年三月二十七日

林陸相就任後初めて召集された軍司令官及師團長會議第一日は廿七日午前九時から陸軍省第一會議室に於て開會、松井臺灣、川島朝鮮兩軍司令官、朝香近衛、東久邇第二兩師團長宮殿下を始め奉り森第一、若山第三外各師團長、留守司令官、本省側より林陸相、土岐、柳川兩次官、石井參與官、永田軍務、小野寺經理外各局長並に植田參謀次長、林教育總監部本部長等參集、冒頭林陸相は約四十分亘つて訓示を行ひ後一般所管事項に關する事務の打合せをなした

寫眞は

一、林陸相の訓示（左列上席朝香宮次席東久邇官）



◎清淨された銅像の前で

一旅順閉塞三十年記念祭

今から卅年前の明治卅七年三月廿六日夜から翌日にかけて行はれた旅順攻略戦に於て護國の華と傲つた廣瀨中佐外旅順閉塞隊戦死諸士卅周年記念祭典は廿七日水交社主催の下に神田須田町廣瀨中佐銅像前廣場で行はれた。この日海洋少年團員百五十名は例年の如く午前七時から神田消防署のポンプのホースで銅像に水をかけ漆のぼつてブラシで洗淨してすつかり一年の塵垢を洗ひ落し午前十時遺族の外季長たる財部大將を初め大角河相外各軍大將、軍令部各將官、東郷元帥、左郷將校約百名等參列、神田明神木村宮司の修成によつて式は始められた

寫眞は

一、海洋少年團の銅像清掃



◎奉祝五月人形

(東京) 九年三月廿八日

畏くも日嗣の皇子様には御氣色益々麗はしく御健かに渡らせらるゝやに拜承仕るが來ん五月の菖蒲の節句には初のお祝ひとて各方面よりの献上品も少なからず又民間でも共にこの喜びを遙かにお祝ひまつる意味にて五月人形に待にこの心を籠めて近く市場に現はるゝ人形は何れも奉祝をかたどつてゐる

寫眞は

一、奉祝の五月人形



◎全國劍豪三百名の大試合

一東京一九一九年三月廿八日

目下開會中の師團長會議を機として武術日本
の華々全國師團劍道大會は教育總監部主催で
廿八九日の兩日戸山學校で盛大に開會、出場
劍士は各師團、本省、參謀本部、教育總監部
在郷軍人、宮内省、警視廳等から粒選りの劍
豪のみで第一日は梨本宮台臨の下に午前八時
から華々しく試合を開始した

寫眞は

一試合開始一中央梨本宮、前は中山師範一



◎落花と散る春雪の中を

|| 西將軍凱旋入京 ||

(東京) 九年三月廿九日

接轉戰、鐵蹄全滿にあまねき輝く武將西裝一
中將は今回第八師團長より東京警備司令官に
榮轉、お召に依り参内のため二十九日朝堂を
帝都に凱旋した、東京驛第三プラットホーム
には閑院、梨本兩宮家の御使を始め林、大角
陸海兩相、荒木、南、河合、渡邊、奈良、阿
部、柴各大將その他軍民各方面の出迎人約三
百が待ちうけた

寫眞は

一、凱旋の西將軍 (於東京驛)



◎皇后陛下女子學習院行啓

(東京) 九年三月廿九日

女子學習院では廿九日皇后陛下の行啓を仰いで第四十七回の卒業式を行つた。此の日陛下には清らかな御洋装で午前九時宮城御出門。御先着の各宮妃を始め一同の奉迎裡に同十六分御着。式場に臨御卒業式をみえなはせ給ひ恩賜品を下賜あらせられたが陛下の御前で幼稚圓滿了の齋藤首相令孫百々子嬢の可愛い謝辭朗讀には御微笑さへ洩らされ御感深き御模様
に拜された

寫眞は

一、女子學習院行啓

一、祖母首相夫人に證書を見せて喜ぶ百々子ひやくはやくしさん



◎アメリカから櫻咲く挨拶

りけき日米交誼放送

(東京)九年三月卅日
浦賀灣頭に歴史的砲聲は轟き黎明日本がベル
リを迎へてはじめて太平洋を抱く日米兩國が
修交條約を結んでから本年は早くも八十年、
三十日をペルリ・デーとして東京中央放送局
では桑港員。B・O局との間に往年を回顧す
る意義深き交誼放送が行はれた。先づ日本か
ら午前八時十六分グルー米大使が故國に挨拶
を送り、次に會つて駐米大使をやつた石井菊
次郎子が流暢なる英語で日米親善を強調。終
つて「吾妻八景」を放送した。かくて八時四
十五分から米國より日本語による齋藤駐米大
使の放送等があつた

寫真は

一、放送の米大使(右)と石井子



◎三年振りの行幸に榮えて

一學習院の卒業式一

(東京)九年三月卅日

日白の學習院では天皇陛下の行幸を仰いで三十日第四十四回卒業式を舉行したが陛下行幸の卒業式は三年振りである。此の日天皇陛下には陸軍御通常禮裝を召され午前九時宮城御出門、御道筋を特に復興完成した環狀線道路に選ばせられ戸山學校前から明治通を通御車窓から完成せる新線を御遊ばされつゝ、同廿五分荒木院長以下職員學生等の奉迎裡に學習院に着御し便殿に於いて荒木院長に拜謁仰付けられ、御皇の職員名簿、學生成績表を御覽御少憩の後院長の御先導で式場に臨御卒業式をみそなはせられた

寫眞は

御着の鹵簿



◎兩特使故武藤元帥の墓前へ

未亡人等と劇的對面

(東京) 九年三月卅一日

鄭、熙兩特使は廿一日薄曇りの朝八時四十五分第一衛皮病院を訪問白衣の勇士約百五十名に慰問の挨拶を述べ小石川香林の護國寺に永眠する滿洲建國の親故武藤信義元帥の墓に向つた。此の日故武藤元帥の能婦子未亡人は黒紋附に装ひを正して二女みさをへ二三さんと共に特使一行の到着を待ち兩特使は生花の花環一基を捧げて黙禱し、やがて感涙無量の面持ちで身を起した兩特使は面を能婦子未亡人とみをさんに向けて二歩、三步能婦子未亡人の手を押しいたゞかんばかりにして暫し言葉もなく老の兩眼には涙する輝いてゐた寫眞は

一、向つて右から操子、能婦子、鄭、熙の諸



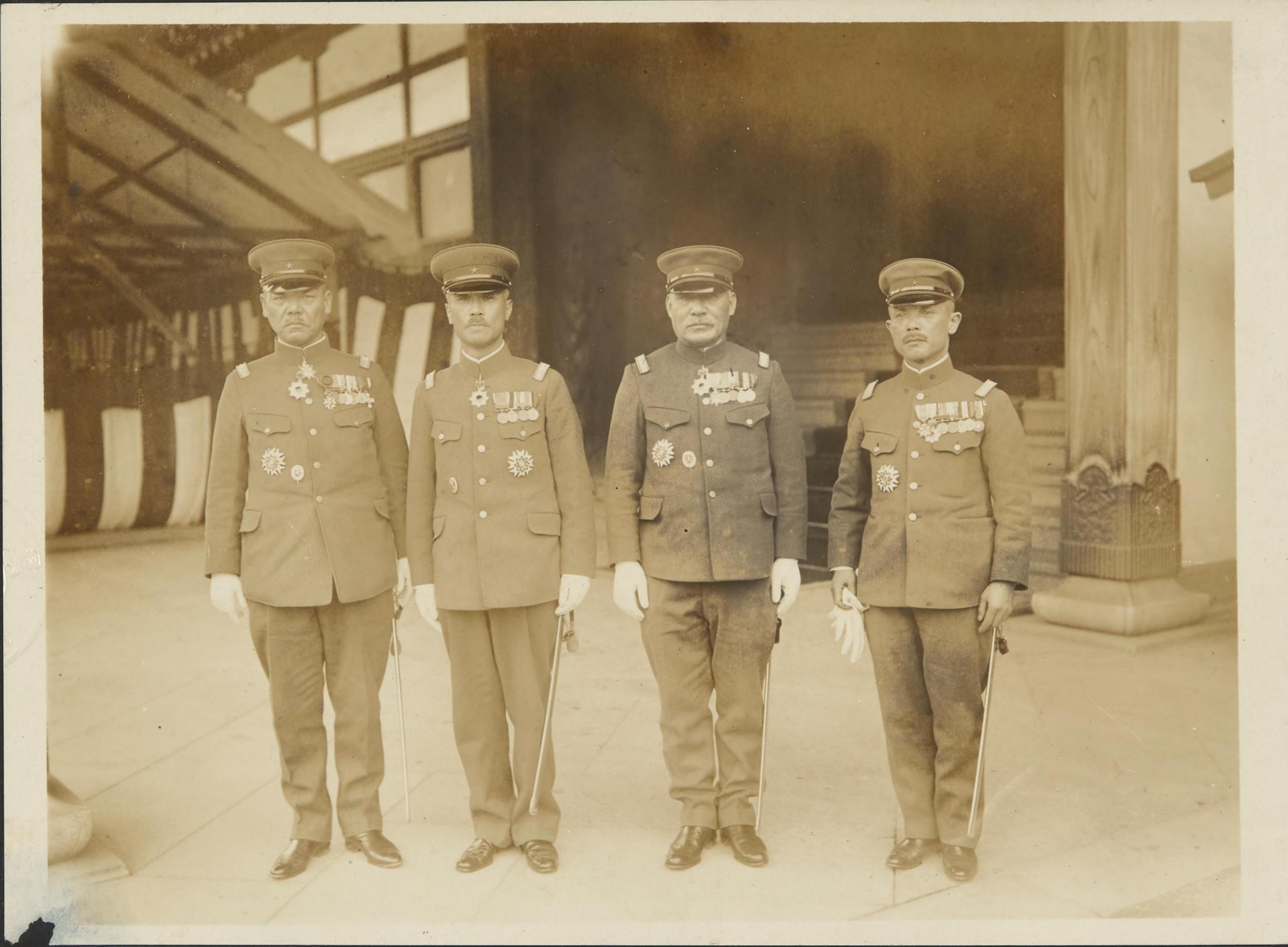
◎四凱旋將軍に御陪食を賜ふ

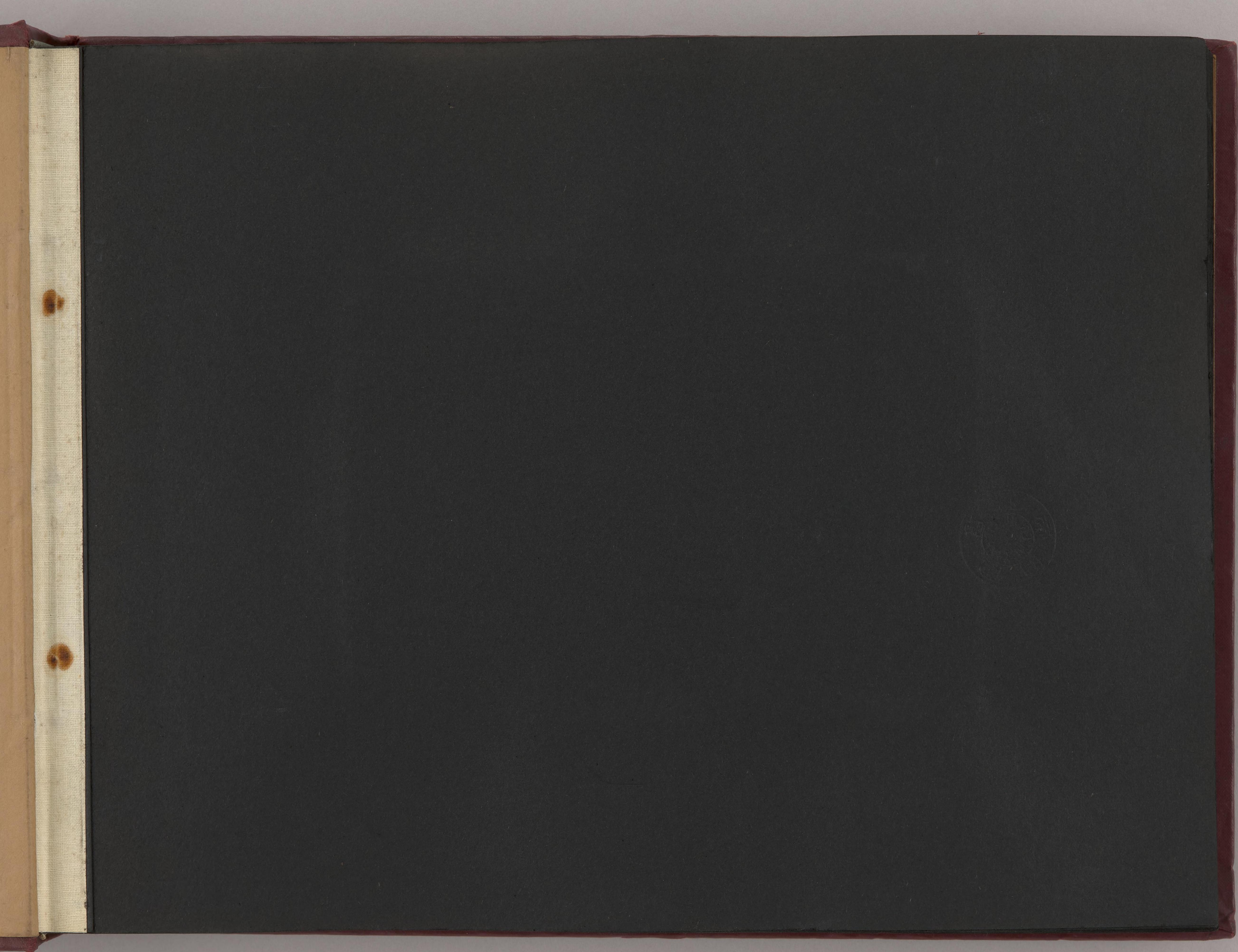
（東京）九年三月卅一日

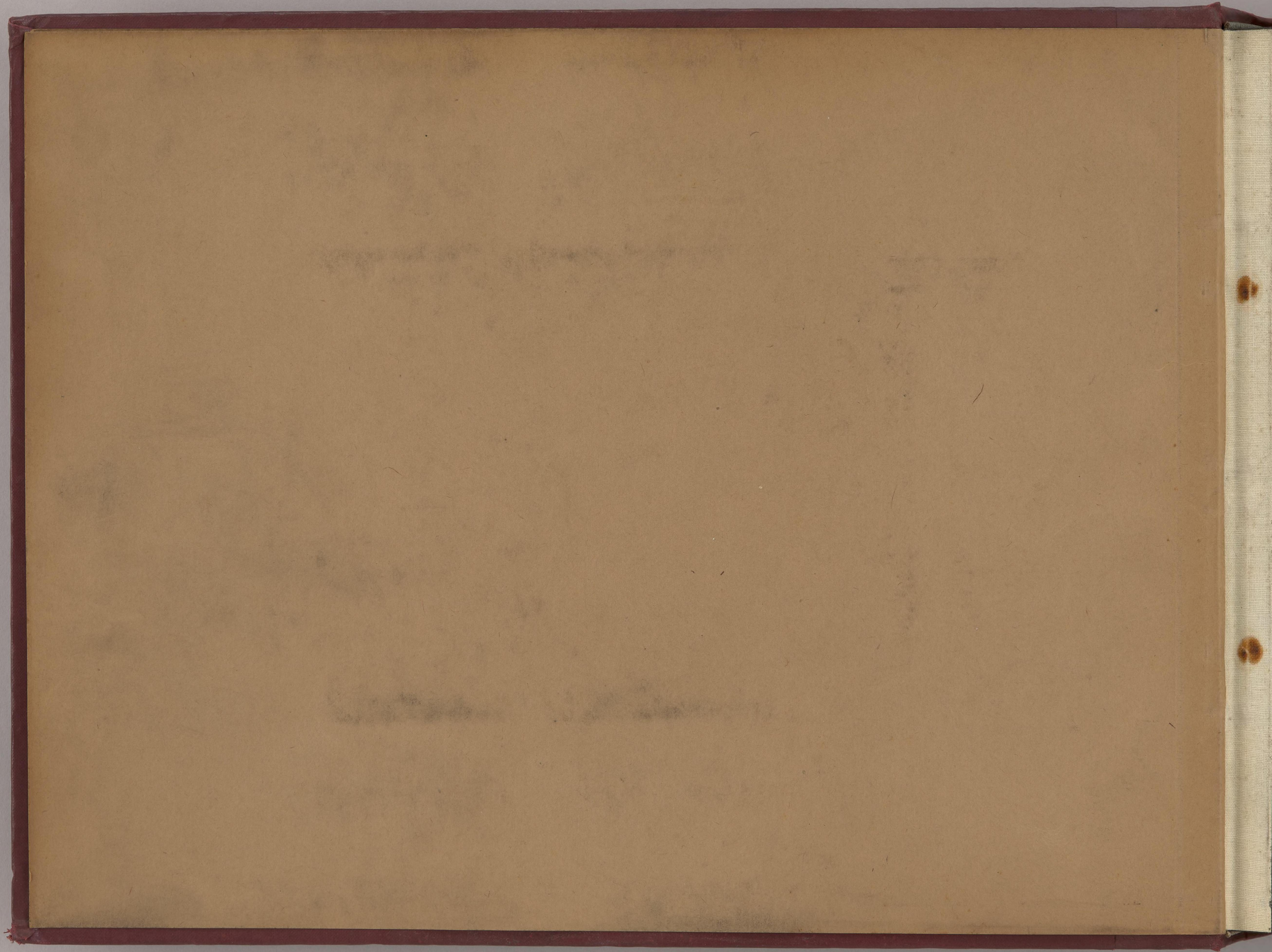
天皇陛下には先に在滿中の軍狀を奏上した前第八師團長西義一、前關東軍參謀長小磯國昭前獨立守備隊司令官井上忠也三中將並に前騎兵第四師團長茂木謙之助少將の四凱旋將軍御慰勞の思召を以て卅一日正午宮中豐明殿に御召の上午餐會を催させられ更に千種間に於て一同に茶菓を賜ひつゝ、凱旋將軍に對し種々御下問遊ばされ武將の殊勳談等御興深く御聽取午後二時頃入御一同光榮に感激して宮中を退出した

寫眞は

一、向つて左から小磯、西、井上、茂木の各將軍（於東御車寄）









雜 53
52



